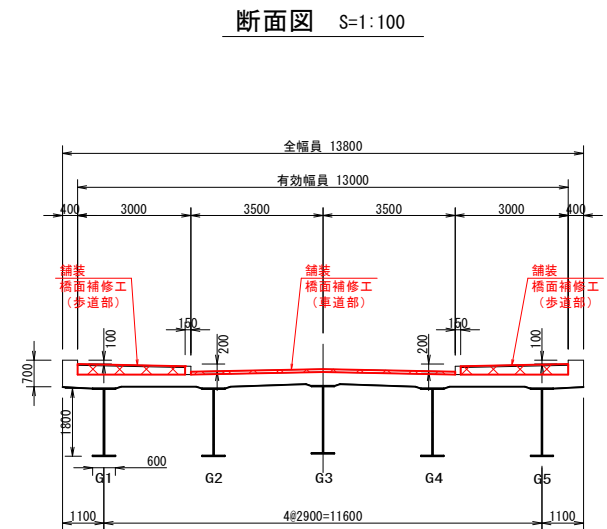
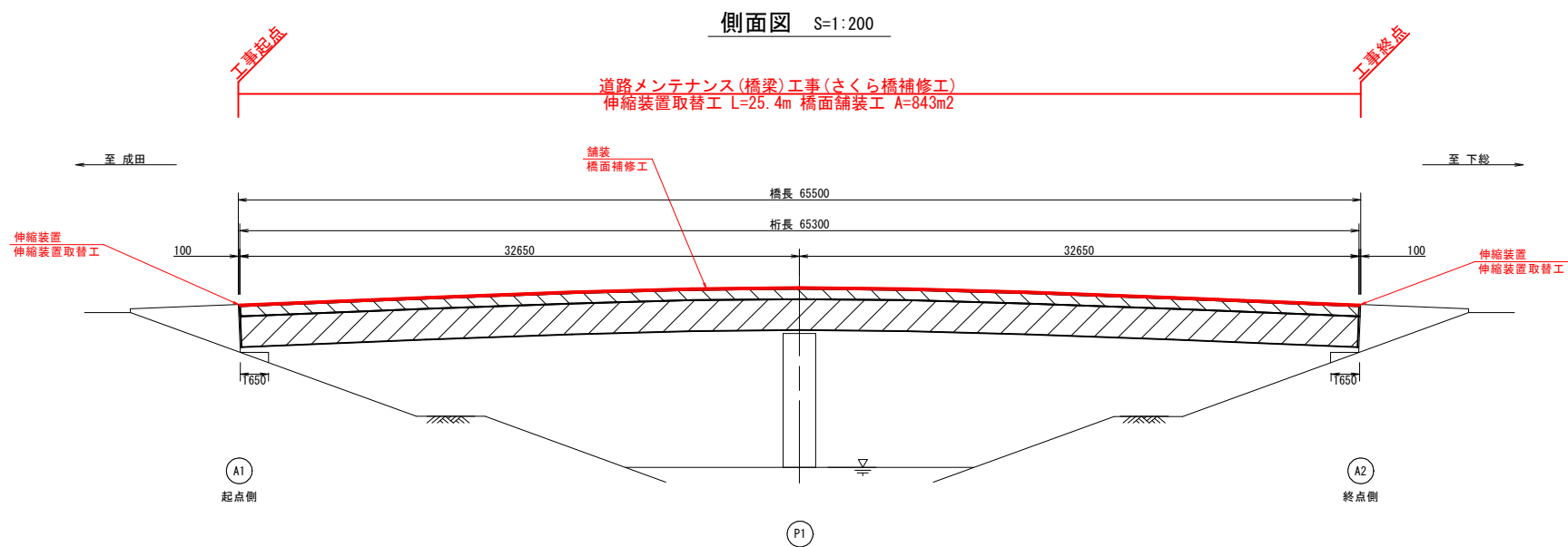


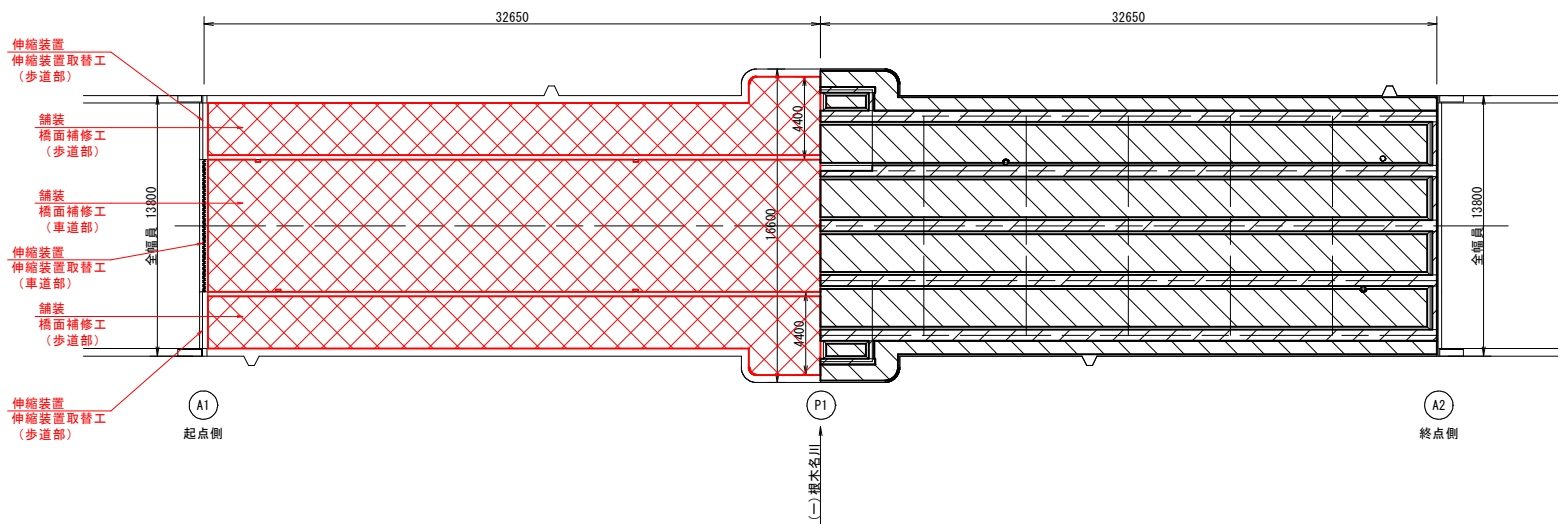
さくら橋補修計画一般図



補修項目一覧表

損 傷 箇 所	変 状	補 修 項 目	規 格 等
伸 縮 装 置	遊間の異常	伸縮装置取替工	
舗 装	路面の凹凸	橋面補修工	橋面防水工
	舗装の異常		舗装打換え工

平面図 S=1:200



位 置 図



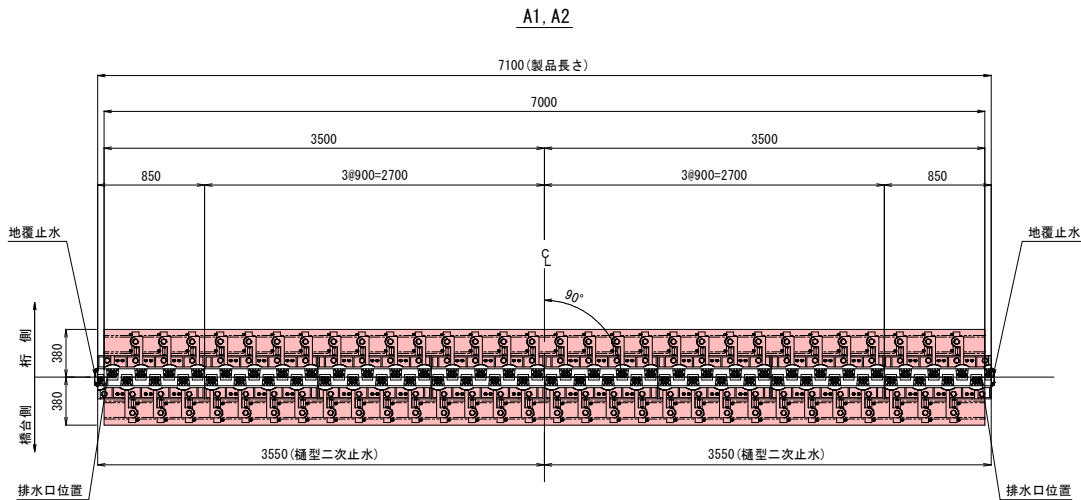
発注年度	令和8年度		
路 線 名	主要地方道 成田下総線		
工事箇所	成田市土屋 外		
工 事 名	道路メンテナンス(橋梁)工事 (さくら橋補修工)		
図 面 名	さくら橋補修計画一般図		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	1 / 4
会 社 名			
事業者名	千葉県 成 田 土 木 事 務 所		

さくら橋補修詳細図（１）（伸縮装置補修工）

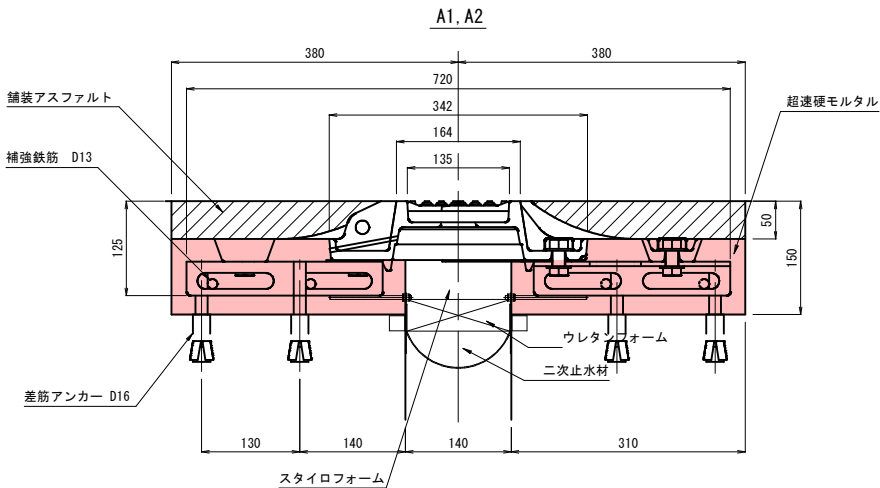
伸縮装置取替工

A1, A2(車道部)

配置図 S=1:30

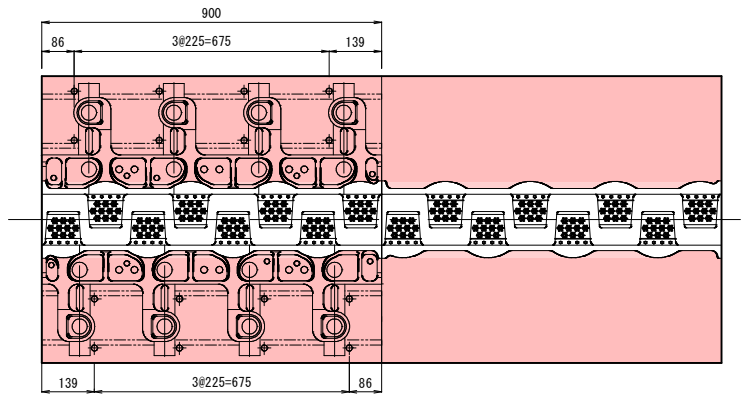


標準取付断面図 S=1:5

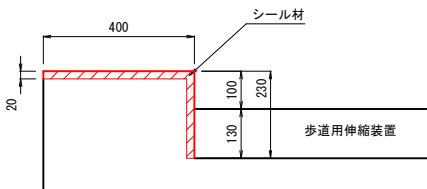


標準取付平面図 S=1:10

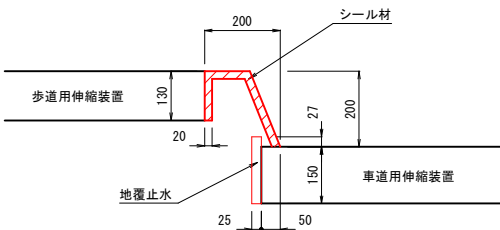
A1, A2



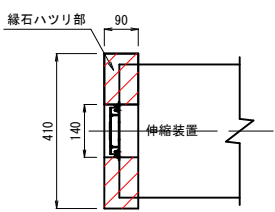
地覆部詳細図 S=1:10



縁石部詳細図 S=1:10



車道



伸縮装置集計表(※仕様・規格については、同等品以上のものとする。)

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
伸縮装置	HDJ-CV-R80	m	7.100	—	7.100	—	14.200	鋳鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
	HSJ-SW-R80	—	—	5.600	—	5.600	11.200	鋼製・歩道用(別途副資材必要)
地覆止水	HDJ-JS C	個	2	—	2	—	4	(別途副資材必要)
二次止水 (種型)	HDJ-OP-R350	m	7.100	5.600	7.100	5.600	25.400	伸縮量60/80mm用(別途副資材必要)
	4-D13×7.00	kg	27.86	—	27.86	—	55.72	
補強鉄筋	8-D13×2.80	—	—	22.29	—	22.29	44.58	0.995kg/m
	計	—	27.86	22.29	27.86	22.29	100.30	
差筋アンカー	D16、SD345	本	120	80	120	80	400	
超速硬モルタル	σ _{ck} ＝24N/mm ² 以上	m ³	0.440	0.291	0.440	0.291	1.462	
断面修復材	地覆止水埋め込み部	—	0.016	—	0.016	—	0.032	
アスファルト	—	—	0.213	0.078	0.213	0.078	0.582	

型式	規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
HDJ-CV-R80	定尺(L=900)	本	6	—	6	—	12	鋳鉄製・荷重支持型
	端部(L=850)	—	2	—	2	—	4	
HSJ-SW-R80	定尺(L=900)	—	—	4	—	4	8	鋼製・歩道用
	端部(L=485、L=515)	—	—	4	—	4	8	

【 指 示 事 項 】

- ※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
- ※ 表層材は超速硬モルタル硬化後に施工を行うこと。
- ※ 伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
- ※ 車道用(横目地)製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
- ※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結パッキンを有する製品とする。
- ※ 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- ※ 車道用製品はLCC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。
- ※ 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

発注年度：令和8年度

路 線 名：主要地方道 成田下総線

工事箇所：成田市土屋 外

工 事 名	道路メンテナンス（橋梁）工事（さくら橋補修工）		
図 面 名	さくら橋補修詳細図（１）（伸縮装置補修工）		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	2 / 4
会 社 名			
事業者名	千葉県成田土木事務所		

注記)

- ・施工にあたっては、事前に損傷状況、損傷寸法を計測し、損傷数量に変更が生じる場合には、監督員と協議すること。

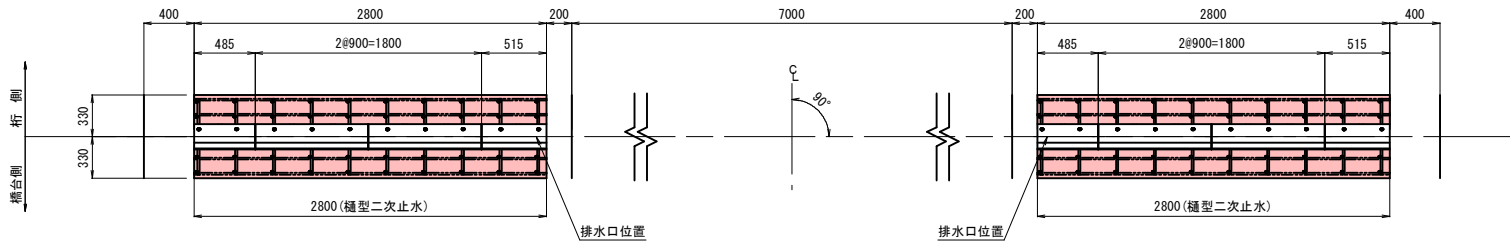
さくら橋補修詳細図（２）（伸縮装置補修工）

伸縮装置取替工

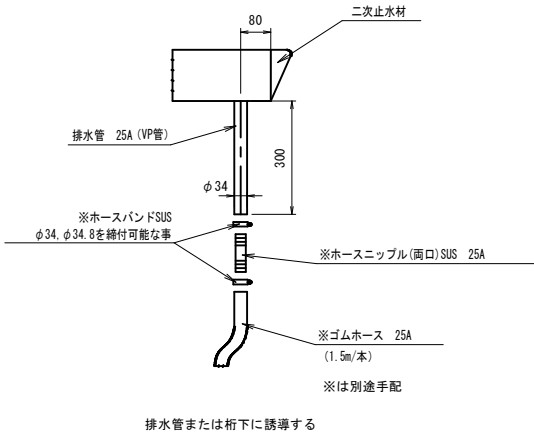
A1, A2 (歩道部)

配置図 S=1:30

A1, A2



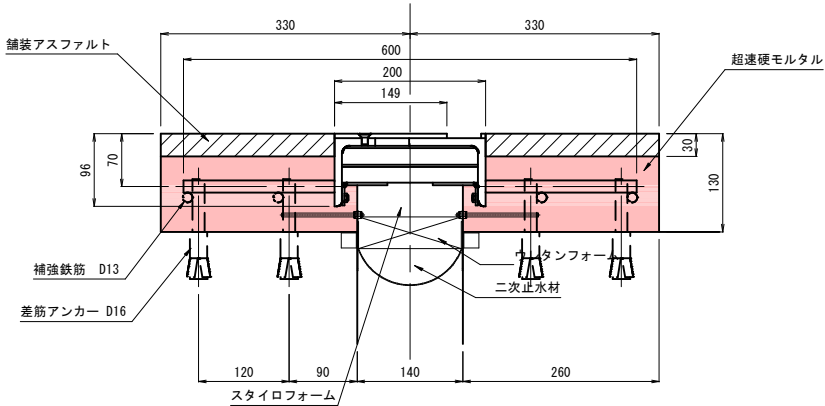
排水口詳細図 S=1:10



- (注)
- 二次止水材排水口からの流束は、橋座面に滞水せぬよう排水ホースを取付し、誘導する事。
 - 排水ホース・固定金具の取付は、足場設備にて行う事。
 - 床版造間が狭い場合は、排水パイプ設置に必要なスペースを確保する事。

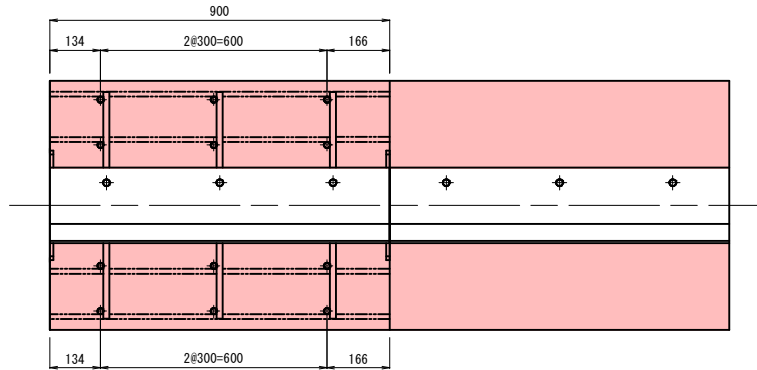
標準取付断面図 S=1:5

A1, A2

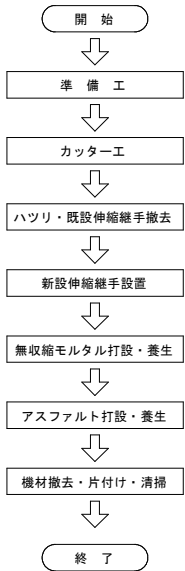


標準取付平面図 S=1:10

A1, A2



伸縮装置取替工の施工フロー



【 指 示 事 項 】

- ※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
- ※ 表層材は超速硬モルタル硬化後に施工を行うこと。
- ※ 伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
- ※ 車道用(横目地)製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
- ※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結バックンを有する製品とする。
- ※ 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- ※ 車道用製品はLCC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。
- ※ 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

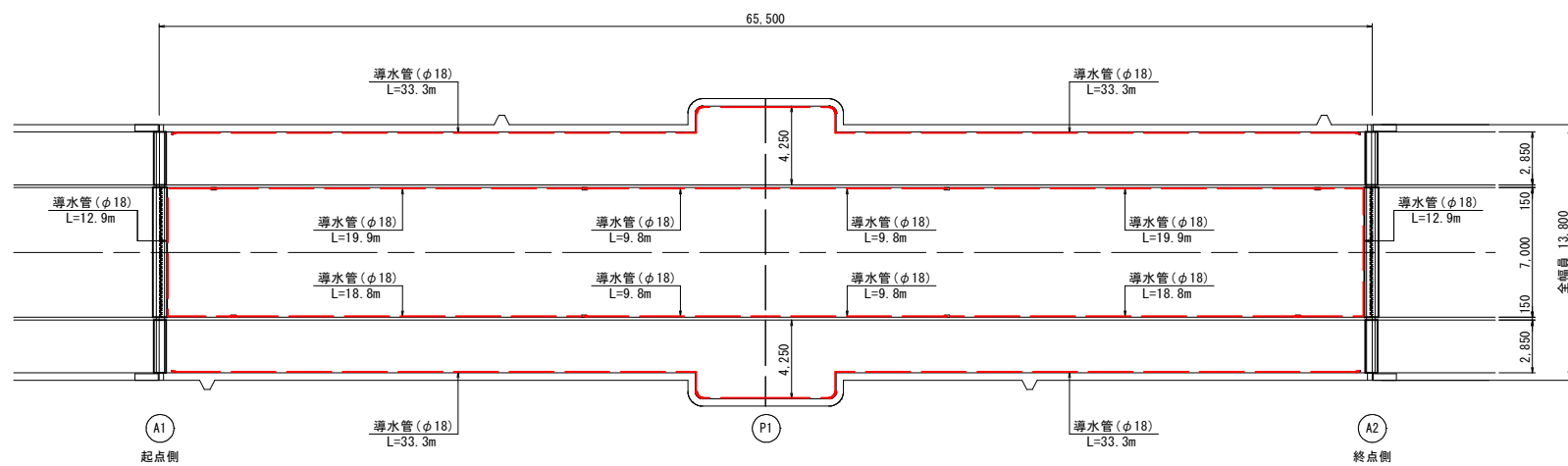
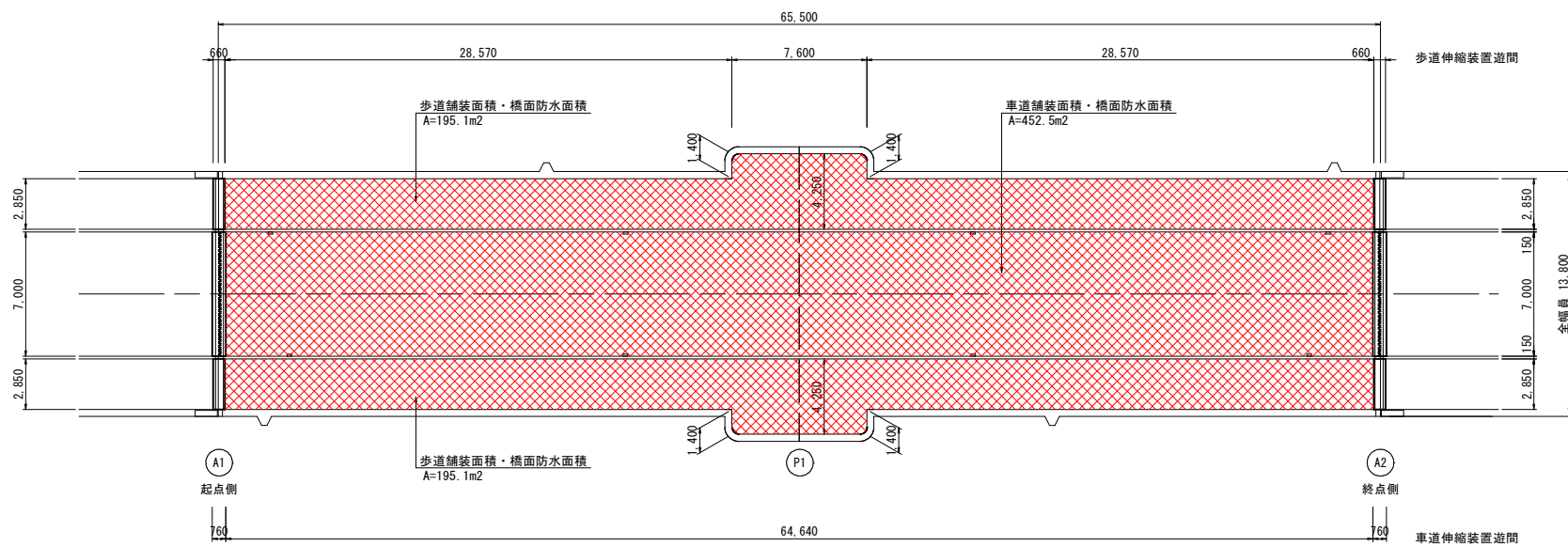
注記)
・施工にあたっては、事前に損傷状況、損傷寸法を計測し、損傷数量に変更が生じる場合には、監督員と協議すること。

発注年度：令和8年度
路 線 名：主要地方道 成田下総線
工事箇所：成田市土屋 外

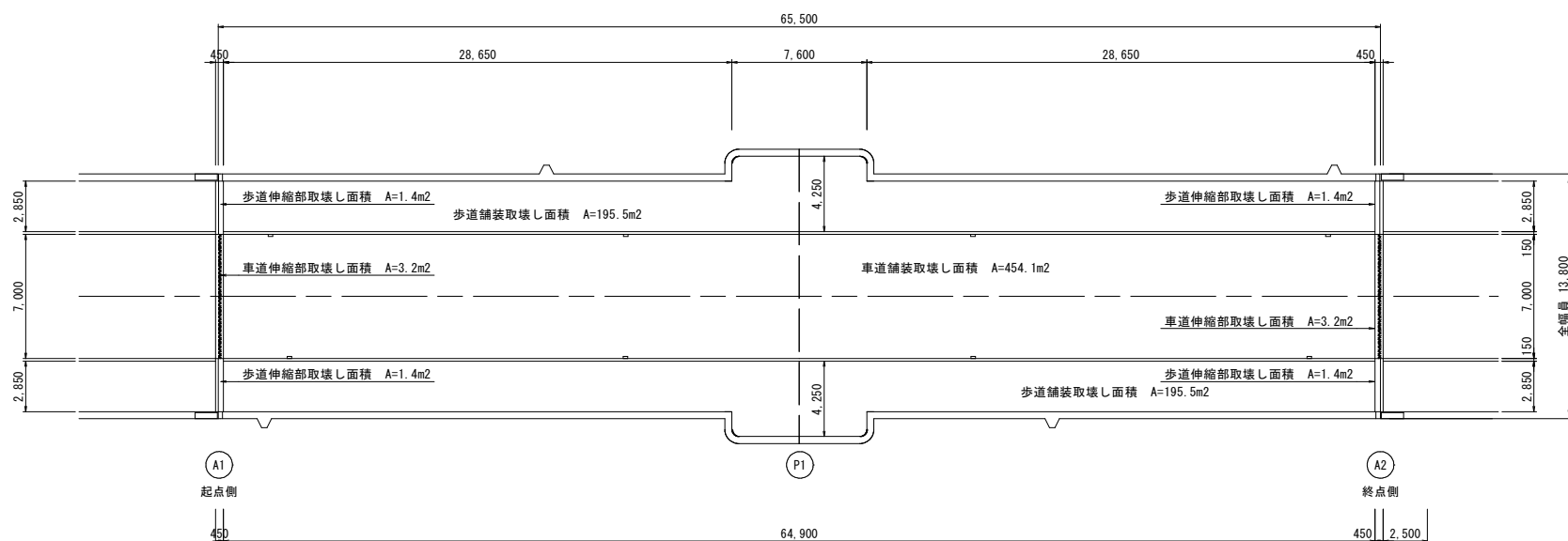
工 事 名	道路メンテナンス（橋梁）工事（さくら橋補修工）		
図 面 名	さくら橋補修詳細図（２）（伸縮装置補修工）		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	3 / 4
会 社 名			
事業者名	千葉県成田土木事務所		

さくら橋補修詳細図（３）（橋面補修工）

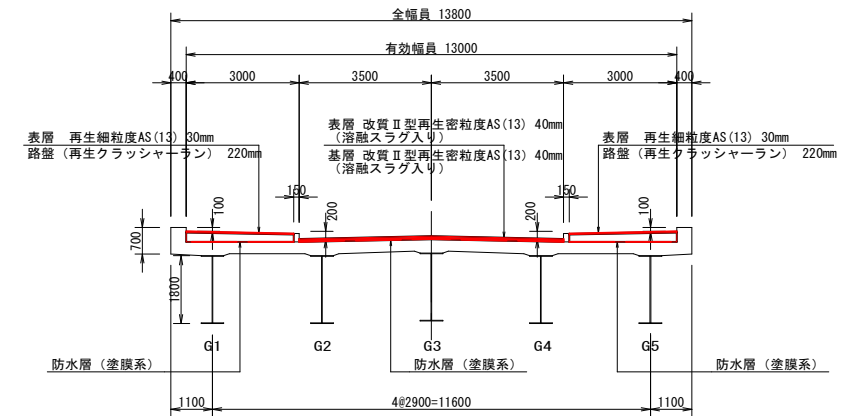
平面图 S=1:200



撤去平面図 S=1:200



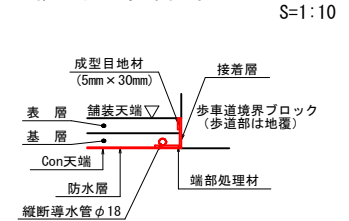
断面图 S=1:100



舖裝擴大圖

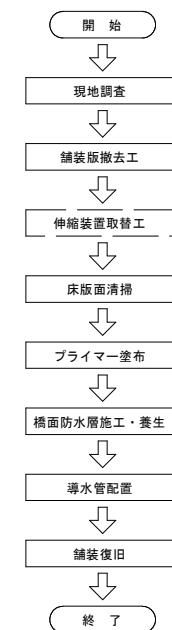


排水部詳細図



2. 穿孔時は、事前に鉄筋調査を行う事。
3. 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地調査及び照査の上、決定の事。
4. 舗装切削時に舗装厚を確認し数量等の変更を行う事。

橋面補修の施工フロー



注記)

- ・施工にあたっては、事前に損傷状況、損傷寸法を計測し、損傷数量に変更が生じる場合には、監督員と協議すること。
- ・すりつけ区間は必要最低限とする。

発注年度：令和 8 年度
路 線 名：主要地方道 成田下総線
工事箇所：成田市土屋 外

工事箇所	成田土木工務所		
工事名	道路メンテナンス（橋梁）工事 （さくら橋補修工）		
図面名	さくら橋補修詳細図（３） （橋面補修工）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	４／４
会社名			
事業者名	千葉県 成田土木事務所		